



なかざわ  
仲澤消防署長

あすか  
飛鳥消防団長

——上ノ国消防署と消防団、この2つの組織について、今後の活動や組織についての展望をお聞かせください。

**消防署長** 消防では、訓練時間の大幅な延長や訓練内容の充実を図り、対応力の強化について近年にない密度で実施しており、当面はこれを継続していく考えています。

**消防団長** 消防団においても今年は昨年比で倍以上となる訓練時間を予定しています。

——なぜ今、消防力の急激な強化が計画されているのでしょうか

**消防署長** 想像を遙かに超える災害が近年発生している状況を鑑み、それに対応するためです。災害の発生件数は明らかに増大しています。火災の発生件数は例年変わっていませんが、こちらもミスが許されないうちに、これまで以上に練度の向上が必要と考えています。

**消防団長** 消防団についても、この点を重視しています。地域に根差した組織として、非常時にどれだけ迅速・適切に対応し、地域を守れるかが最も重要な課題です。

——災害と火災は大きな課題で、対応力の向上は心強いですね。このほか課題等がありますか？

**消防署長** 消防については、消防団とともに今後もこの訓練の密度を維持し、連携力を高めていくことが課題です。

**消防団長** 私達消防団も練度向上と消防署との連携力強化に全力で取り組んでいきます。そして消防団の課題として、団の高齢化があります。災害や火災への対応はどうしても若い力が必要となりますが、平均年齢は47歳と年々上昇しています。

今後、地域を支え守るのは自分たち自身であるという考えから、是非若い人に私達とともに活動してほしいと願っています。

——ありがとうございます。これで最後となりますが、この場を借りて何かあれば

**消防署長** 消防署は、最も危険が伴うテクニカルな分野を日頃の訓練により担いますが、災害発生時における地域の早期状況把握や避難誘導、火災時の放水、タンク車への継続注水など、消防団のサポートが無ければいずれも成り立ちません。

消防団と消防署は一心同体で任務に当たることで初めて人命を守ることができまので、今後も消防団と緊密に連携し、職務にあたります。

**消防団長** 私達は地域に住む者としてそれぞれの地域に根差し、『自分たちのまちは自分たちが守る』という信念のもと、率先して行動し続けたいと考えています。それには地域の協力が不可欠です。今後も情報提供や活動時の協力、団員の推薦などご助力いただければ大いに力になります。ご協力よろしくお願いたします。

消防団は共に地域を守る仲間を募集しています！若手団員からの呼掛け



第1分団  
(上ノ国・原歌・大崎)  
小林 豊  
(在籍11年目)

最近では、一昨年の上野川が氾濫仕掛けた大雨など、信じられないような災害が身近なものになっていると感じています。消防団は地域の守り手で、災害が増加した今の時代だからこそ、力強い若手が求められています。若い人は是非、私達と一緒に活動しましょう！



第6分団  
(扇石・汐歌)  
浅沼 有人  
(在籍6ヶ月)

私は現在21歳で、最初は親族の勧めで入りましたが、これまで地域を支えてきてくれた年上の人たちと一緒に、地域に貢献できることに充実感を感じています。年齢は関係ないです、自分達の地域のことを自分たちで守るため、是非一緒に活動しましょう。



第3分団  
(中須田・豊田・小森)  
久末 克也  
(在籍5年目)

地元中須田で消防団に入って、今年で5年目の久末です。父も消防団でしたので自然と入りましたが、年齢の高い低いに関係なく、地域の人々と助け合いながらの活動に充実感を感じています。私も若輩ですが、いざという時に一緒に活動する仲間をいつでも募集しています。



第7分団  
(大留)  
森田 勝  
(在籍8年目)

大留地区所属の第7分団で部長を務める森田です。今年で消防団所属8年目ですが、昔よりも確実に災害が起きる確率は高くなっています。また、大留地区は広いので、火災での出動も比較的多いです。どちらにしても、力強い若手は常に必要とされています。私達と一緒に、地域のために活動しましょう。

●入団のお問い合わせ 上ノ国消防署 (☎55-2071) ●

※来月から上ノ国消防署および上ノ国町消防団によるお知らせコーナーが始まりますので、是非御覧ください。